

(毎月10日・25日発行)

復興ニュース

101号
2013年
11月10日
メール

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目14-15
HP「夢ネット大船渡」と検索を
npoyumenet@bz01.plala.or.jp

元気人間製造研究所の皆さんが大船から来てくださいました



大阪府堺市の一般社団法人 元気人間製造研究所 (森重子所長) の皆さん20人が11月2、3両日、気仙地方を訪れ、地域交流イベント「第3回愛・逢いカーニバル」を開催しました。2日は大船渡地区公民館、3日は陸前高田市の再生の里ヤルキタウンで七五三の着付けやファッションショー、交流会などを行いました。



2日のファッションショーのモデルさん



あら〜かわいい!! (*^▽^*)



3日の七五三の様子。みんな、ステキ!

《七五三イベント 親御さんからのメッセージ》

*忙しくて七五三の撮影どころではなかったのですが、こういう機会をいただきありがたく思っております。本当にありがとうございました。

*写真を大切に自宅に飾りたいと思います。楽しかったです。

《七五三イベント 子供たちからのメッセージ》

*プリキュアみたいになれました♡

*ありがとうございました。カッコよくしてくれてありがとう。

あでやか切り絵展示会



夢ネット大船渡は11月6、7両日、サンリアで「あでやか切り絵展示会」を初開催しました。

これまでに切り絵講習会を行った気仙地域の仮設住宅の皆さまから作品をお借りし、会場に167点を展示しました。出品者の最高齢は92歳でした！！

展示会に訪れた女性は「自分で簡単に出来るからおもしろいね。私もやってみたい！」と話していました。

切り絵は一つひとつ個性的な作品に仕上がり、完成後に比べっこするのも楽しいです。多くの人に広まればと思います。

川の駅よこたでカカシコンテスト

11月3日、陸前高田市横田町の川の駅よこたで「あゆの里まつり」が開催されました。その中で行われたカカシコンテスト。優勝は、ディズニー映画「モンスターズユニバーシティ」をモデルにした、たけのko学童クラブの作品「たけのkoユニバーシティ」でした。本物のモンスターのようにすばらしい出来栄えですね！！

1位



2位



3位



ボランティア養成講座、参加者募集

阪神淡路大震災では仮設住宅内で多くの方が自死でなくなり、東日本大震災においても同様のことが課題となっています。この講座では、訪問活動を模擬的に体験することで訪問時に必要な「話を聴く、気持ちを受け取る、気持ちを表現する」ことを体験的に学びます。

【日時】11月28日(木)、29日(金) 10:00~19:00

【場所】大船渡市民文化会館 リアスホール

【対象】気仙地域での活動へ継続的に参加できる人
車の長距離移動に無理なく参加できる人

【申し込み】11月22日までに氏名・年齢・連絡先を記入しメール(so-dan@kyoto-jsc.jp)またはファックス(075-365-1601)で。

【問い合わせ】京都自死・自殺相談センターSotto事務局(Tel075-365-1600)へ。

野外音楽イベント 於つどいの丘商店街

【日時】11月16日(土) 13:30~16:00

【場所】高田大隅つどいの丘商店街

【スケジュール】

13:30~ 岩手県紫波町で活動する20~60代の皆さんで結成された「昭和スターズ」が、美空ひばりや小泉ルリ子など昭和の懐かしの曲を演奏

15:00~ 「miwako Fantastic Earth」。富山県高岡市出身で、アルトサクソフ奏者の美和子さんを中心に、Fantastic Earthとのアンサンブル演奏を披露

11月1日、キャピタルホテルがグランドオープン！！



東日本大震災の津波で被害を受けて休業していた陸前高田市のキャピタルホテル1000が市内を一望できる高台に再建され、11月1日にグランドオープンしました。

震災から2年8か月…陸前高田市民にとって希望ともいえるホテルの復活です。

ホテルは鉄骨造、地上3階建て。客室は全40室ツインルームで、最大80人の宿泊が可能です。また、レストランや大浴場、宴会場、結婚式場も備えています。事業費は9億円で、国の補助金や

公的融資、気仙沼信用金庫による資金提供に加え、公益財団法人三菱商事復興支援財団の支援を得て、まかになったとのこと。

旧ホテルは平成元年、高田松原の近くで開業。震災時は7階建ての5階まで浸水し、休業を余儀なくされました。人首（ひとかべ）ますよ支配人は「豊かな自然がはぐくむ豊富な海の幸、山の幸の地元食材にこだわったお料理を含め、陸前高田の地で積み重ねてまいりました人にやさしいおもてなしの心でお迎えし、今後、復興への明りをとともす新たなシンボルとして、地域の活性化に寄与していきたい」と話していました。



ホテルから見た陸前高田市

ビジネス支援コーナー開設



ビジネス支援コーナーを訪れた戸田公明市長

起業のきっかけづくりとビジネス支援サービスの充実を図るため、大船渡市はこのほど、市立図書館内に「ビジネス支援コーナー」を設置しました。

図書館内の1角12.7㎡に、企業や就労支援に関する350冊の蔵書が置いてあるほか、国や県、関係団体の助成制度についてのパンフレットなどを取り揃えています。

また、特別企画と銘打って、「著名な起業家から、起業を目指す方々への直筆メッセージ」や「起業家紹介コーナー」を展示中です。お気軽にご利用ください。

【開館時間】図書館と同じ 平日9時から19時
土日祝日9時から17時 毎週火曜日休館

今年もノースジャーニー開催

ライブイベント「The North Journey Reunion ノースジャーニーリユニオン」が11月2、3、4日、大船渡屋台村や盛駅などで行われました。

アーティストの皆さん70人以上が参加し、素晴らしい歌声を披露して下さいました。3日は、貸し切り列車内でライブ演奏を行う「フェスティバルトレイン」が運行しました。心に響く音楽、ありがとうございます！

【右写真】アーティストのhisaoさん。免許取りたての頃に土手から落ちた体験を歌った「雨にころがれば」を披露していました。



人物紹介コーナー♪
第4回 聞き屋さん
瀬 知行さん

毎月8がつく日（8、18、28日）におおふなと夢商店街で、人の話にじっくりと耳傾ける「聞き屋」なる活動を行っている瀬（せ）さん。《どんなお話も聞きます。自慢、悩み、恋話なんでもOK》と書かれた看板を掲げ、訪れた人の話にひたすら耳を傾ける。利用は無料。プライバシーは厳守される。

瀬さんは山口県出身。沖縄の大学に在学中、仲間と数人で「聞き屋」を始めた。当時は非行防止を目的に、中高生が気軽に悩みを吐き出せる場を目指していたという。その後、地元山口で就職。2011年3月に東日本大震災が発生すると、「山口にも被災者が避難しているかもしれない。震災のストレスを話せる場があれば…」と、今度は地元で聞き屋の活動を再開した。現在は活動の場を岩手に移し、おおふなと夢商店街と釜石で活動を続けている。これまでに300人以上が利用したという。

聞き屋を利用する人は、震災のことだけではなく、家族や友人、または恋愛の悩みなどを打ち明ける。それらの話に対し、瀬さんは聞き屋の3か条「アドバイスしない、否定しない、秘密厳守」に徹する。瀬さんは「人の話を聞くことは大事なこと。相手の話にしっかりと耳を傾ける、世の中にそんな小さな聞き屋さんがたくさん増えれば」と話す。

現在、新しい活動場所を探し中。ご連絡は瀬さん（メール ahmondobc@yahoo.co.jp）まで。



■三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内

Tel/fax (0192) 47-3542

- ◆無料法律相談 11月16日（土）14：00～16：00 申し込み必要
11月17日（日）10：00～12：00 仮設住宅へも出張します
11月30日（土）14：00～16：00
12月 1日（日）10：00～12：00
- ◆駅からウオーク 11月23日（土）11時に盛駅集合。11：30盛駅発。
今月は綾里駅から津波記念碑と白浜を散策します。
参加費450円（保険代と乗車券代）お弁当持参。11月20日（水）締め切り。
- ◆駅弁列車 11月17日（日）11時に盛駅集合。11：30盛駅発。
おかげさまで今回は満員になりました。次回は12月15日（日）に実施予定。
- ◆歌声列車 11月16日（土）11時に盛駅集合。11：30盛駅発。
参加費1500円（お弁当と乗車券代）11月13日（水）締め切り。
- ◆あでやか切り絵・お茶会 11月15日（金）10：00～12：00 参加無料
ふれあい待合室で実施。お茶っこしながら、切り絵に挑戦しましょう♪

【訂正】復興ニュース100号の「復興ニュースをご支援してくださっている皆さま」の記事のなかで、下壺仮設の佐々木英子さま、高田高校第2グラウンド仮設の橋詰幸栄さまの表記を間違えて掲載してしまいました。お詫びして訂正します。

**ご意見、ご感想お寄せください。
短歌、俳句作品も募集します！**

この復興ニュースは、
岩手県福祉基金の助
成を受けています。

◎どなたでも応募可能です。◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。

NPO 法人夢ネット大船渡 *大船渡市盛町字内の目 14-15Tel/fax 47-3271

*メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp